

編集後記

暑さ寒さも彼岸日までのとおり、秋らしい気候になりました。日本透析医会雑誌5巻2号・通巻9号をお届けいたします。雑誌発行が今まで不定期でしたので、VoL. No.が不正確となっております。今号より修正し、改めました。又、頁記載も今号より通しページといたしました。

日本透析医会雑誌をどんな雑誌に育てていくのか医会理事に意見を聞きましたところ、純学術雑誌ではなく、教育的な論文・時事解説的な記事・会の活動報告・地域の透析事情の紹介・時には透析にまつわるエッセイなどをとりあげる会員間の情報交換誌の性格を持たせてほしいとのことでした。会員のみなさまからも意見を広く求めながら、次号の発刊が待たれる雑誌にしていきたいと思えます。

昨日(9月24日)、東京で「適正な透析導入のあり方」と題したシンポジウムが本会の企画で開催されました。原因疾患、年齢などにより透析導入のあり方は異なるものとシンポジストからの発表があり、フロアからの多数意見も含め大変盛況でした。

発表を聞き終え、透析治療歴も20年となった現在、いろいろな意味で透析治療における基準値の見直し時期に来ていることを痛感しました。このシンポジウムの講演記録、透析導入に関するアンケート結果及び論文などを掲載した特集号を出来るだけ早く(11月中旬予定)皆さまのもとにお届けするため、現在作業中です。ご期待下さい。

(長谷川 記)